

バラ科 カナメモチ属

ベニカナメモチ (紅要藕)

Photinia × *fraseri* W.J.Dress 'Red Robin'

自生環境

植栽 (庭、公園など)

原産地

人工的な栽培種

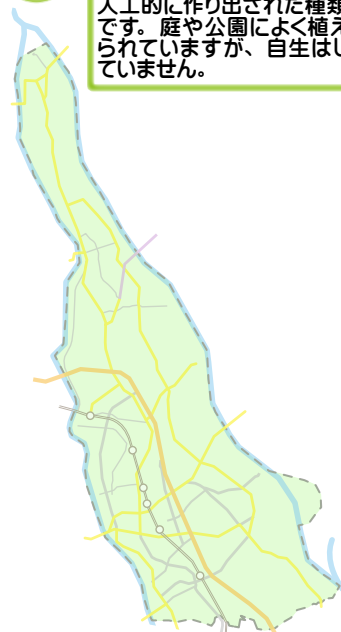
予想される被害

{今のところ特になし}

庭や公園の生垣としてよく使われており、ときに果実をつけることがありますが、現時点では野生化したものはありません。今後も野生化する可能性は低いと考えられます。

市内の分布状況

人工的に作り出された種類です。庭や公園によく植えられていますが、自生はしていません。



特徴

- ☆ カナメモチとオオカナメモチを交雑してつくられた園芸品種で、レッドロビンとも呼ばれています。病害虫の影響を受けにくく丈夫で、刈り込みにもとても強いことから、今や生垣の定番。世界じゅうに普及しています。
- ☆ 常緑樹で葉は光沢のある深緑色ですが、新葉は鮮烈な赤色です。新芽の成長が盛んに春先はもちろん、季節に関係なく刈り込むたびに赤い新葉が出てきて、生垣を美しく彩ります。
- ☆ 初夏、枝先に多数の小さな白い花がまるく集まって咲きます。ハナムグリやハチ、チョウなど、多くの虫さんが花を訪れます。結実率はあまり良くないですが、ときにまばらに結実することがあり、秋に赤く熟します。刈り込みを頻繁に行う場所では、花や果実はほとんど見られません。

レッドロビンとも呼ばれる

本種は園芸品種名のレッドロビン (Red Robin) という名でもよく知られています。かつて生垣には、野生種のカナメモチがよく使われていましたが、今では、身近な場所で見かけるものの大半が本種です。ちなみに、カナメモチの中から新芽の赤が美しい性質を持つ株を選別して、それを「ベニカナメモチ」と称することもあります。これは本種とよく似ていて、識別は困難を極めます。



若い葉が真っ赤で美しいので生垣によく使われる

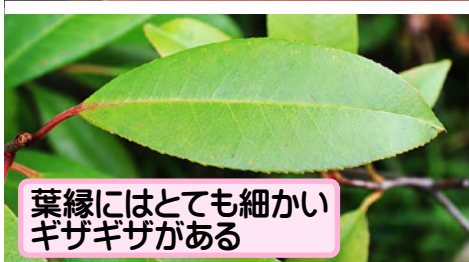


枝先の若葉は鮮やかな赤色

成熟した葉は緑色になる



1つの花の大きさは1cmくらい。花びらは5枚



葉縁にはとても細かいギザギザがある



たまに小さな丸い果実ができることも



熟すと赤くなるが、食用にはならない

わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

